

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |           |     |             |
|----------------|-----------|-----|-------------|
| ○事業所名          | ほっとルーム船岡  |     |             |
| ○保護者評価実施期間     | 令和7年1月16日 |     | ～ 令和7年2月7日  |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)    | 10名 | (回答者数) 10名  |
| ○従業者評価実施期間     | 令和7年1月6日  |     | ～ 令和7年2月14日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)    | 5名  | (回答者数) 5名   |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年2月20日 |     |             |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること  | 工夫していることや意識的に行っている取組等   | さらに充実を図るための取組等   |
|---|---|---|--|
| 1 | 職員同士のチームワークが良いことで、お子さんの支援に対して、お互いに前向きな意見が言い合える。   | 職員間で実戦後のフィードバックを欠かさず行うことにより連携を図っている。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>職員の資質向上の為に研修を充実させる。</li> <li>個々の特性に配慮し尊重したプログラムの作成を行う様努めている。</li> </ul>   |
| 2 | 一人一人のお子さんについて、丁寧に個性を見極めながら支援している。   | 保護者のニーズに合わせた支援内容を理解し、意識して支援に取り入れている。  | 保護者会などの設定を行い、意見交換ができる場を提供する機会を設ける。   |
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> <li>事業所の立地場所が良い。</li> <li>駅前、保育所、お店なども近く、ノーマライゼーションの取り組みが期待できる。</li> <li>他事業所との関わりがある(カフェ、ファーム)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>前日のフィードバックをすることにより、お子さん一人一人に合わせた支援の方法や課題の検討を行っている。</li> <li>活動の中で就労継続支援A型、B型との交流を取り入れている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>他施設やお店、他事業所等に見学、訪問を行っていく。</li> <li>お子さん一人一人の興味や得意分野にフォーカスし、アート、物づくり、軽作業、料理などのプログラムを取り入れ、進路の見通しを立てられるようクリエイティブ活動を充実させていきたい。</li> </ul> |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること  | 事業所として考えている課題の要因等  | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等  |
|---|---|--|---|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> <li>お子さんが不安定になった際の静養場所に限界がある。歩行等の不安定なお子さんに対して、バリアフリーが不十分な箇所がある。</li> </ul>                           | 業務の割り振りや内容が視覚的に分かりにくく、業務に対して共通理解が図れていないところがある。   | お子さんの安全確保のため、動線や動き方を随時確認して話し合いが必要。  |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> <li>送迎時の駐車場からの出入り。</li> <li>優しすぎてしまう場面が見受けれる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場の縁石や歩行者の往来</li> <li>場面に応じた適切な対応が不十分である。</li> <li>支援記録の活用方法が不十分。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場の縁石を撤去してもらおう。</li> <li>支援方法について、叱り方、メリハリのつけ方の工夫が必要。場所を変える、切り替え方をはっきりさせる等、物理的な場所の移動で、気持ちの切り替えをスムーズに行っていく。</li> </ul> |
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> <li>業務の効率化について。</li> <li>専門的支援のプログラム内容を上手く周知できていない。</li> <li>他の放デイや児童館、地域のお子さんと活動する機会がない。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>業務の割り振りの不明瞭さ。</li> <li>業務改善や効率化の見直し。</li> <li>具体的な工夫と検討。</li> </ul>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>実用的なシステムの導入。</li> <li>専門的支援のプログラム内容を周知していけるよう幅広く広報を行ってきたい。</li> <li>地域のお子さんとの交流を充実させた支援が行えるよう、今後検討していきたい。</li> </ul>   |